石の鼓動 森亮太

Pulsation of the stone

Mori Ryota

ジュニアガイド

群馬県立館林美術館
Gunma Museum of Art, Tatebayashi

題名ってなに？

この人の作品には無題という名前が付けられた作品があります。
つまり題名が無い「無題」という名前の作品です。
でも題名は最初からつけて作るのではなく、できたものを見て後でつけます。
「きになった夜」もステキな題名ですね。
たぶん真っ黒な石の色と模様が夜空を、かたちは大きな木に見えてきたのでしょう。
COUPLEも男の人と女の人が仲良く並んでいる姿に見えたのでしょう。
題名を見てから作品を観るのではなく、自分で観て感じてそれから題名を見ると、
ぼくもこんなふうに感じた‥。私だったらこんな題名つけるのに‥。
思ったこと、感じたこと、心に残ったことがあれば、メモしておこう。

きになった夜　1987年　黒御影石

抽象ってなに？

この人の作品は、女の人や動物の形を作ったのではなく、円や曲線を組み合わせて面白い形を作っています。女の人を見てきれいだなと思い、馬や鳥の姿がかっこいいなと思って絵や彫刻を作ります。こういう具体的にある形を借りるのを具象と言います。円や直線、曲線などを組み合わせて新しい形を作るのを抽象と言います。どちらも美しいなと感じた形という意味で↗

↗は同じです。でもこの作者は、「月や太陽だってまん丸だよ。ガラス板に水滴が落ち表面張力でまん丸になる、ぼくの作品は抽象ではないと思っている。」作者はこの形が元になり、半分になったり、重なり、ずれたり、たぶん砂漠に生きるサボテンのようだと思って、「砂漠の植物」とか「こすもす」とタイトルを付けたのだろう。次から次へと芽を出し、上へ上へと伸びていく生命力。宇宙を意味する「こすもす」は永遠を表現したかったのかな？

断片　1987年　黒御影石

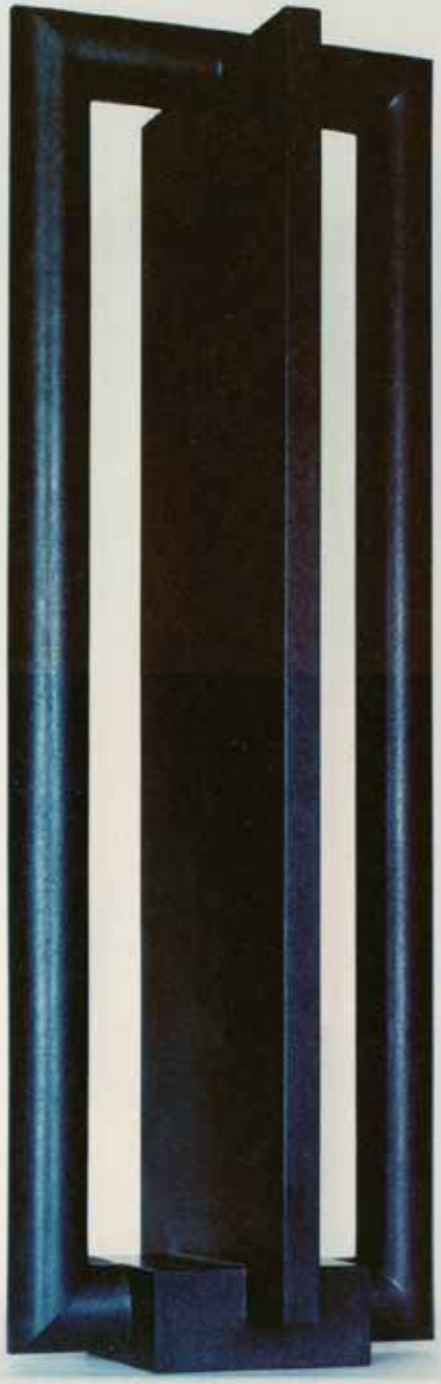
羊羹を切るみたいに！

彼は「甘いようかんを切るみたいに作品を作りたい。」といったことがある。
この人の作品に共通するのは、固い黒御影石で作ったのに、まるで羊羹のように
やわらかく見える。でも、こんにゃくのようには柔らかくない。
これは曲線だけを使った形と、手で磨き上げたためでしょう。
固い石を切ったり削ったりは大変なことなので、なるべく機械を使いやすいような
形にしたり、磨きやすいよう平らな面にしたり手作業が少なくて済むようにします。
でもこの作品は、初めから手作業でないとできない形。
すべてが曲面で出来ているので、すべて手で磨かないといけません。
その為に彼はまず砥石から作りました。それぞれの曲面に合わせて
荒砥・中砥・仕上砥を手作りし、荒い砥石から順番に磨き上げていきます。
つるつるになるまで磨き上げるのは、大変な手間と時間がかかります。
仕事場には山のようにたくさんの砥石が残されていました。

波　1990年　黒御影石

向こうが見える

この石の作品は御影石といって、
よくお墓の石にする、
とても硬くて丈夫な石です。
だから彫るのも磨くのも大変です。
でもこの作品は重そうに感じない、
風がふいたらカラカラと扉が回りそう。
この彫刻はお墓の石みたいな四角い塊を、
機械を使って彫っていきます。
でもだんだん薄くなると
割れてしまうので、最後は手で少し
ずつ彫り、砥石で研いて
ぎりぎりまで細く、薄くします。
（技術の限界まで挑戦したいと
いっていました。）
タイトルに「風」がつく作品を、
たくさん作っています。
共通するのは薄くて軽やか、
よくある石彫のどっしりした作品とは
正反対です。



風の扉　1987年　黒御影石

さわってみよう

これは何に見えるかな？

とびはねるうさぎさん。　それともうさぎの耳。　前から見ると何に見えるかな？

この人の作品は、人や動物の形をそのままつくるのではなく、

作者がきれいだな～と思うものを形にしていきます。

触ってみるとつるつるで気持ちいい。石の冷たさ、ふくらみ、

この人も手で触りながら、石を一番きれいだな～と思う形に研いていったのでしょう。

（ここの作品は触ってみてもいいですが、ほかの作品は触らないでね。前から、横から、後ろから、よーく観てね。）

二つの突起　1982年　黒御影石

美術館でのルールとマナー

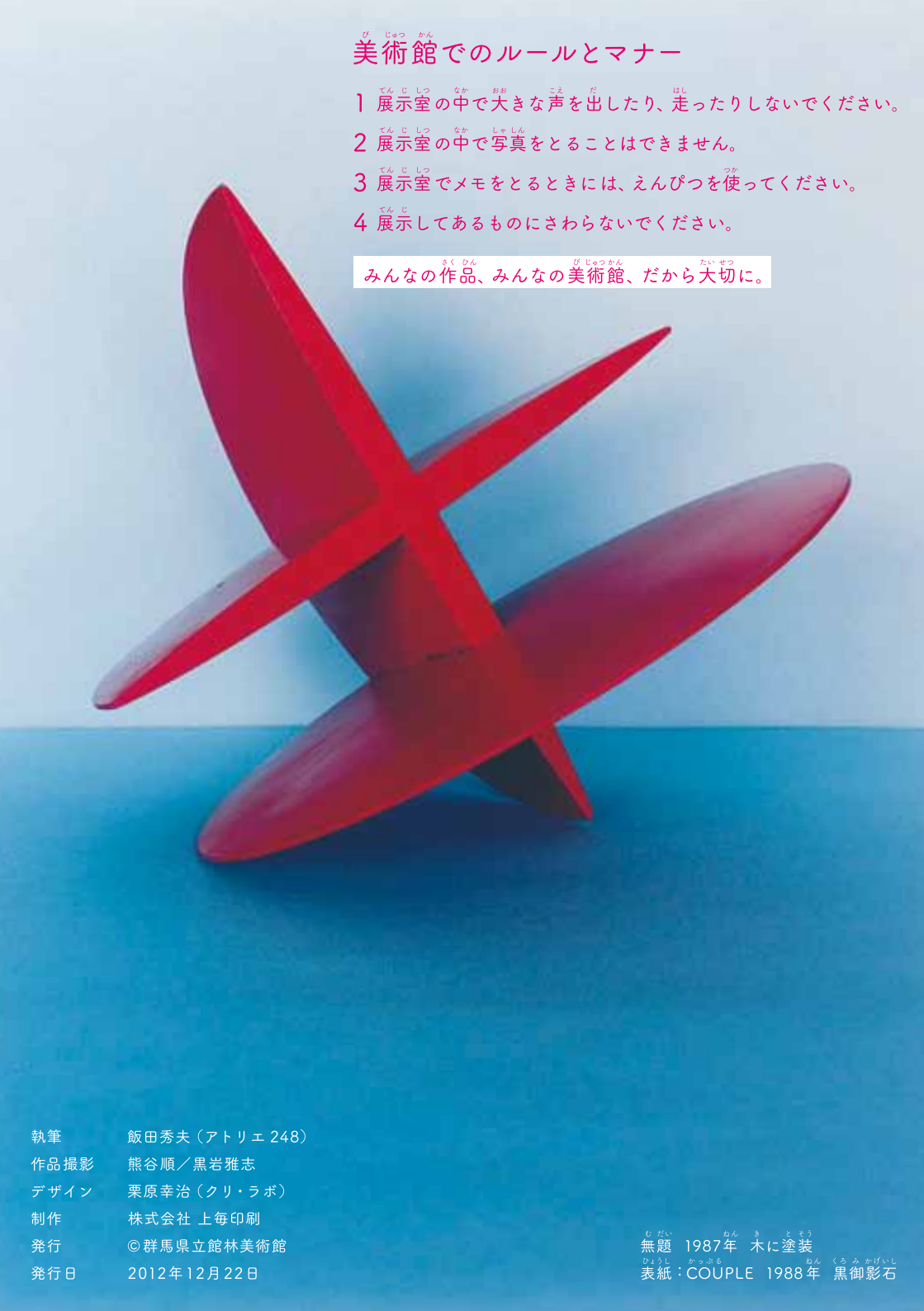
1 展示室の中で大きな声を出したり、走ったりしないでください。

2 展示室の中で写真をとることはできません。

3 展示室でメモをとるときには、えんぴつを使ってください。

4 展示してあるものにさわらないでください。

みんなの作品、みんなの美術館、だから大切に。



執筆　飯田秀夫（アトリエ248）
作品撮影　熊谷順／黒岩雅志
デザイン　栗原幸治（クリ・ラボ）
制作　株式会社 上毎印刷
発行　©群馬県立館林美術館
発行日　2012年12月22日

無題　1987年　木に塗装
表紙：COUPLE　1988年　黒御影石